浦町中だより

令和4年度 第11号
令和 5年 2月27日(月)
浦町中学校発行 文責：校長

親学『親は子どもを育てる中で 子ども時代を生き直す』

子育てをする中で「このやり方でよいのか」と、考えることはないでしょうか。私は自身の子育て真っ最中や新米教師の頃、壁に当たった時など、よく悩み考えることがありました。そのような時「自分の親なら、先生なら、尊敬するあの人ならどのように教え導いただろう」と自分の小さい頃を振り返ることがよくありました。それはある意味、自分の人生を振り返ることでもあります。時には厳しく、ある時は優しく励ましながら育ててくれた家族や周りの方々に、今では本当に感謝しています。お陰で今こうして自分の居場所を見付けられているのですから。

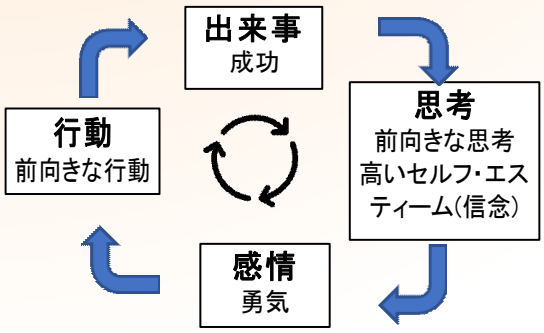
子どもは自分自身について「よい」と感じているときは、前向きな行動につながっていきます。現代の複雑で予測困難な社会情勢だからこそ、未来を託す子どもたちには信念をもって正しい判断や選択ができる勇気を身に付けさせたいものです。

子どもは誰一人として同じ性格や性質の子はいません。兄弟であっても性格が違うことはよくあります。何も言われなくても勉強する子もいれば、何回言ってもなかなかやるべきことを始めない子もいます。また、ある時を境に急にやる気を見せたり、逆に全くやる気を失ったりすることもあります。親の願いとしては、少なくとも我が子には生涯を通じて順風満帆な生活を送ってほしいという思いをもって子育てをしているはずなのですが、どうしてこうも違いが出るのかと感じることも多いものです。突き詰めれば、それは百人百様、千差万別だからです。

「三つ子の魂百まで」という諺があります。子どもにとって一番大切な学習期間は幼少期であり、人格が形成されるのは９歳頃までと言われています。しかし、その時期はもう二度ときません。それならば、今からもう一度新しい子育てをしてみてはいかがでしょうか。それは、自我が芽生え社会性を学びはじめた今、周りと自分との関わり、社会や集団の中での存在意義を考えさせる中で、理性に訴えかけて自分の感情をコントロールできるようにさせていくことだと思います。例えば、自由や権利を主張することが多くなりますが、責任や義務を果たしているのか、といったことを教えていかなければなりません。また、迷惑とは何ぞやということも含めて、迷惑をかけなければ何をやっても許されるのかということも、今しか教えられないことだと思います。

子育てにマニュアルはありません。多くの事例を参考にしながら、最終的に我が家、我が子なりのやり方を見付けていくことが家庭における「教え」だと思います。A家で上手くいったやり方が通じなければ、B家やC家のやり方も参考にしながら、練り上げた我が家なりのやり方を教え繋いでいくことが、今最も必要な家庭教育と考えます。子どもが未熟で不完全なのは当たり前です。少子高齢化や核家族化が進み、地域の教育力低下や安全神話崩壊が叫ばれている今、子どもにとって安心できる場所＝”家庭”の教育力を高めることはとても重要です。悩むのは真剣に考えているからこそです。いろいろな方法を模索し、手探りながら最適な方法を見付ける苦労も、終わってみれば案外楽しかったと思える日が来るものです。一緒に子育てを楽しみましょう。

The Success Cycle



子どもを勇気付ける一つの方法

① 自信をもたせてあげる。
例：意見を聞く。最善を尽くしたことに対して自信をもたせる。

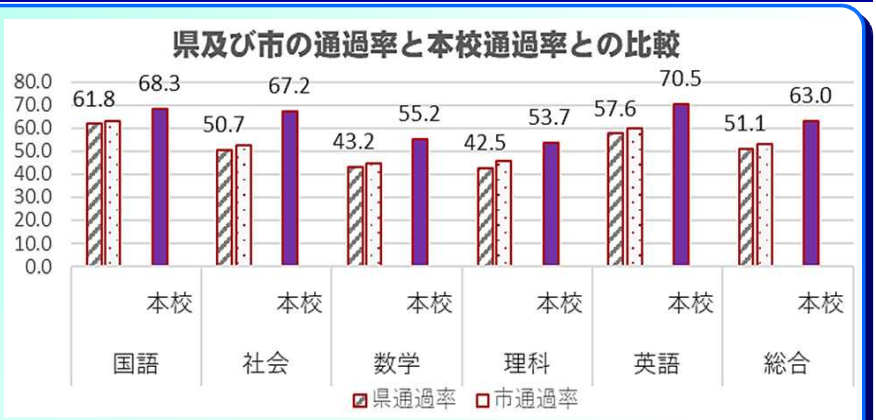
② 強さを基礎にする。
例：子どもの何が長所かを知っておく。
勇気づけて、個性やセルフ･エスティームを伸ばしてあげる。

③ 子どもを評価する。
例：「完璧」から子どもの価値を離して考える。
「失敗」から子どもの価値を離して考える。
子どもの個性やユニークな点を賞賛してあげる。

④ 自立を促す。
例：子どもを甘やかさない。
子どもを占拠するという誘惑に負けない。

令和4年度青森県学習状況調査結果と改善のための取組について

右のグラフは、毎年８月に中学２年生を対象に行われる標記調査の今年度の結果です。県・本市の平均通過率と本校通過率を比較しています。多少の差異はありますが、全教科とも県や市の平均を超えています。（※通過率とは総正解数を総解答数で割ったものです）



課題としていた無答率が大幅に減った一方、定着や習熟が足りないとみられる問題もあります。その特徴としては、次の２点が挙げられます。

１　全ての教科に共通して、説明や考察を条件に沿って書く記述式の問題

２　データや資料から必要な情報を読み取り、それに基づいて判断したり表現したりする力を問う問題

これらは、県や市でも同様の傾向が見られますが、本校では特に１の記述式問題に対しての通過率が低く、言語活動、中でも応用力や伝達力を重点的に指導する必要があります。また、２の項目の改善に対しては、（1）観察や実験を伴う授業の工夫　（2）複数の考え方の比較・検討　（3）自分の言葉で説明する場面設定（4）語句の正しい理解と物事や事象との関連付け、を重視し力を付ける必要があります。授業では見通しを持たせ、教科横断的な学習を進めることで、思考力・判断力・表現力の育成につなげていきます。

(1)知識を確実にするため、理解したことを書いたり伝えたりする活動を重視する。
(2)資料活用能力(思考を深めたり広げたりする力)の向上のため、活用と協働学習場面を設定する。
(3)記述式の問題に多く取り組ませ、テスト問題の回答方式にも工夫を凝らす。
(4)身に付けさせておくべき内容は、できるまで繰り返しドリルすることで確実性を高める。

【今月の栄光の記録】

【第16回あおもり科学大賞】
化学部門 奨励賞：2年　礒　琢人

【令和4年度青森市小・中学校美術展】
準特選：1年 蒔苗 紗季、2年 坂爪 亜美
入選：櫻田 正文、田中 蒼也、佐藤 真弥、今本 暖太
倉内 英那、大屋 実結、門垣 咲来、北畠 俐瑚、神 陽文
上野 桃花、内山 航大、太田 七碧、駒嶺 究、坂本 遥音
青山 仁南、金濱 玲奈、齋藤 勘太郎、肴倉　来幸
神 陽子、村上 優吾、赤根 陽稀、井上 みなみ
大橋 智寛、木山 瑠日、山本 桜子、奥崎 心優
白岩 結衣、脇山 広好

【第50回青森県津軽地区室内陸上競技選手権大会】
[女子] 40m 第１位:工藤 愛華▽800m 第２位:蒔苗 小英
３位:澤田日桜乃　４位:瀧濱 稟愛
走高跳 第４位:瀧濱 稟愛　第８位:工藤 愛華
[男子] 800m 第４位:斉藤 琉空

【第29回青森市中学校女子ソフトボールサンドーム大会】
優勝:工藤 雅、葛西 史歩、小野 凛、原田 聖子、濵根 凛
奥崎 実来、木立 仁愛、前田 陽香、北澤 実來

【第３回青森県ジュニアカーリング選手権大会】
第３位：奥崎実来、阿部智香、三宅香埜子

【第21回青森市中学生文芸発表会】
作文の部 優秀賞　神 陽子、阿部 香帆
創作の部 奨励賞　水谷 美祐
書写条幅の部　最優秀賞：國分せいら
書写半紙の部　優秀賞：柳本 圓佳　優良賞：國分せいら

３月の主な行事予定

1日(水)ＰＴＡ運営委員会、受検事前指導①
2日(木)常任特別委員会
3日(金)廊下ワックス掛け
6日(月)受検事前指導②、ＳＣ来校日
7日(火)県立高校検査日、１・２年実力テスト
卒業式準備作業(式場設営)
8日(水)代議員会、３年卒業式練習～10日
13日(月)[午前]同窓会入会式・記念品贈呈式
卒業式予行、[午後]卒業式準備作業
14日(火)第６１回卒業式
15日(水)県立高校追検査実施日
17日(金)県立高校合格発表
20日(月)全校集会
22日(水)県立高校再募集検査日
23日(木)県立高校再募集合格発表
24日(金)修了式・離任式
27日(月)～年度末休業

2学年の学級編制弾力化について

現在１学年のみで運用されている３３人学級編制ですが、令和５年度から２学年においても運用を拡大する予定で準備を進めている旨、市教委を通じて県教育庁より連絡がきております。このことにより、４学級編制で計画を進めていた新２学年は、令和５年度は現在と同じ５学級編制となる予定であることをお知らせします。